

森紙店にこどもの遊び場をつくる

■敷地：石川県 金沢市 野町1丁目2-3 4

■石川県の共働き率



共働き率の都道府県ランキング

1位山形県	68.15%
6位新潟県	64.9%
7位石川県	64.6%
全国平均	57.7%

2010年度国勢調査

森紙店は大通りに面し、アクセスがしやすい敷地は野町住宅街に近接し、周辺には小学校や保育園もあるしかし、周辺は公園など子供の遊び空間が不足している

石川県は共働き率が多い2010年度国勢調査によると石川県の共働き率は64.6%子供に関わる時間の減少、留守番時の安全性などの問題がある

■森紙店の活用

森紙店は金沢市に唯一残る石置き板葺き屋根を持つ町屋文化財に登録され、活用策が検討されている内部は伝統的町屋であり土間やミセ、吹き抜け低い天井などの特徴的な空間がある

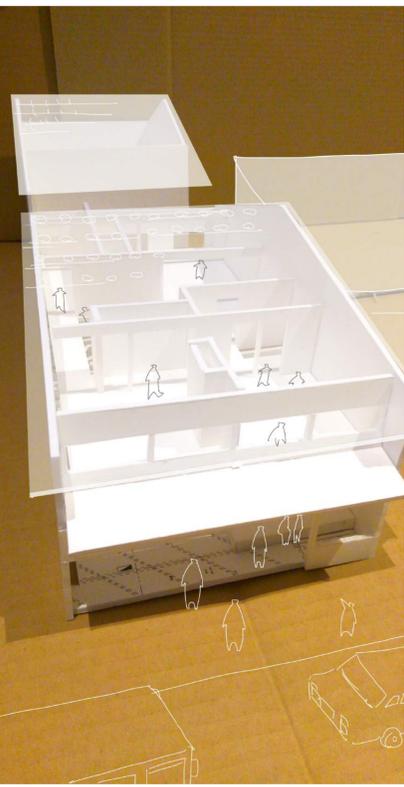
目的

- ・文化財森紙店の活用
- ・地域コミュニティの活性化につなげる
- ・地域市民をターゲットとする

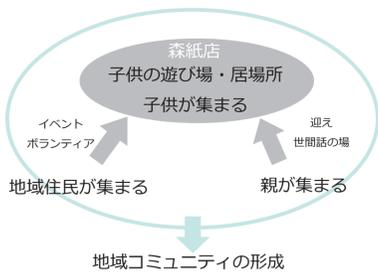
■こどものあそび場、居場所となる

森紙店をこどもの遊び場として提案する。放課後や親の帰宅を待つ時間を主とし、子供の居場所となる。子供が森紙店を遊び場とすることで親や地域の人々を誘いし地域コミュニティの形成につなげる。

町屋独特の空間は交流の場や子供のあそび空間に適するまた、子供が森紙店の伝統的町屋空間を身近に体験することで子供たちが地元文化に触れ、文化をつなげることを展望する



■コミュニティ形成の仕組み



■地域コミュニティの形成



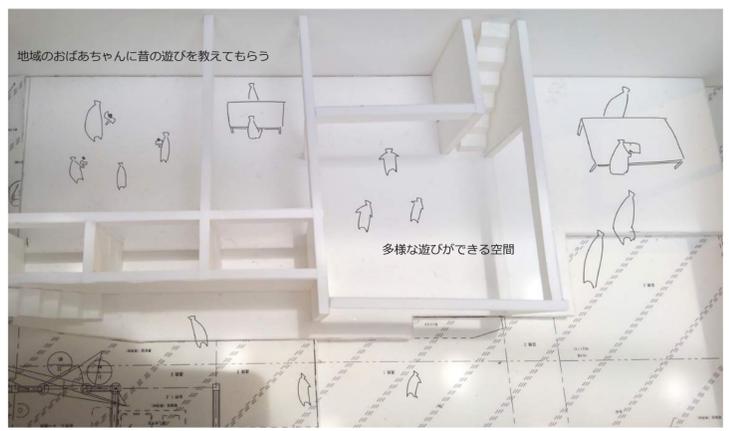
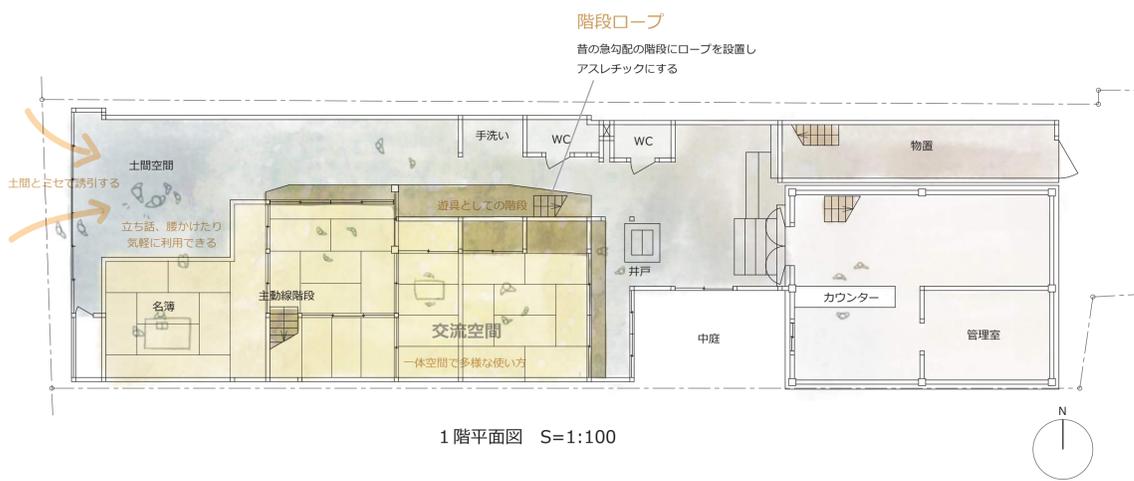
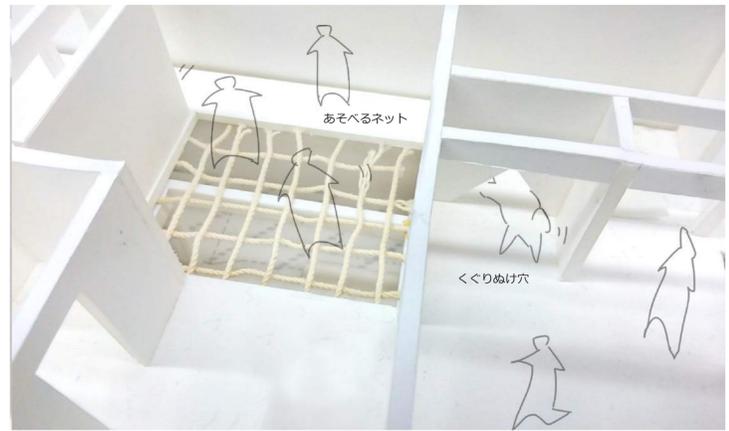
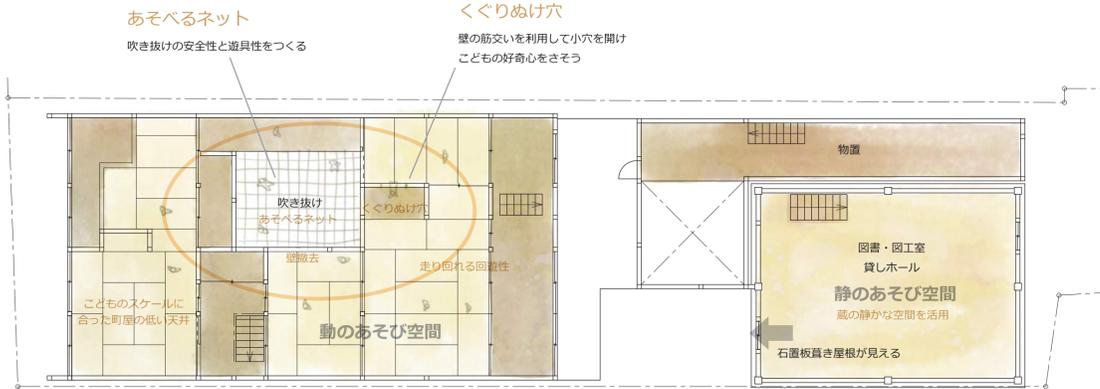
■改装計画

- ・森紙店の伝統的町屋空間は交流の場やあそび空間として優れているため、改装は既存空間を尊重し要素を加える物のみとする
- ・文化財である歴史ある空間を残し、伝統的空間を子供のあそび場とすることで、伝統を子供に体験させることだけでなく地元文化への愛着心を育む。

市役所資料からの改装点

- ・吹き抜け周辺の壁の撤去、ネット設置・階段ロープ・二階くりぬけ穴
- ・蔵内の内装・トイレ増やす・主動線の階段の勾配をゆるくする

■提案する空間内容



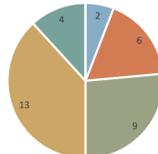
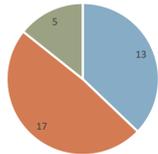
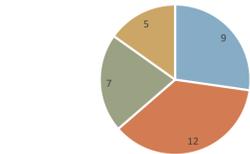
■アンケートによる検証

提案する空間が最終効果とする地域コミュニティの形成ができるかを検証する。
方法：KIT BRAIN BANK 期間：12/4~11 対象：金沢工業大学生、工学部・環境建築学部・情報フロンティア学部・バイオ・化学部

■遊び空間にする提案をどう思いますか？

■提案の中で気に入った空間はありますか？

■子供の遊び空間にすることで地域コミュニティを何%活性化できますか？



また、検証の対象である地域のコミュニティを何パーセント活性化できるかを結果を平均化し、算定すると53.5%だった。以上より、目標とする過半数を超えるため森紙店の活用による地域コミュニティの活性化は期待できると評価する。

■考察

森紙店を活用することにおいて、「地域市民のためになるもの」を軸に、地域の問題「共働き率の多さにより発生するこどもの問題」の解決するために、森紙店を子供の遊び場・居場所となるものとする活用策を考えた。この提案によって共働き環境から発生する問題の解決と同時に周辺環境の地域コミュニティを活性化することが期待できるとなった。以上より森紙店をこどもの遊び場として活用することで周辺環境の地域コミュニティを活性化することができるという。

また、この提案は、森紙店の既存伝統的町屋空間をそのまま活用するため、金沢市の文化を尊重し受け継ぐことができる。そして伝統的空間を子供の遊び場とすることで、伝統文化を次世代を担う子供達に触れ合わせるだけでなく、地元文化への愛着心を育み、将来的な地域文化の保全につながると考えられる。

■市役所からの評価

11/22 に市役所を訪問し中間発表時の提案について評価を頂いた

●良かった点

- ・高齢者を引き込むことができる
- ・町屋空間の良さをそのまま活用することができる
- ・平面計画において配管などによる物理的不可は見当たらない
- ・森紙店を子供の遊び場とすることは、校区をまたいだ子供たちの交流ができる
- ・曳家工事により歩道が広がるのでさらに人々の誘引効果などが期待できる
- ・コストが最低限で済む

●課題点

- ・提案内容は駐車場が必要になるが、敷地に駐車場を設ける場所がない
- ・あそび場として安全面などの制限があることが考えられる

➡解決案

- ・駐車場 → 別所の敷地を借りる・曳家後の拡張された歩道に駐車する
- ・安全面 → 安全規制の調査、提案平面の調整

提案に対する市役所の印象も提案内容や方向性など全体的に好印象と感じ、市役所からの評価は良かったと考えられる。

H28年度プロジェクトデザイン実践
テーマ：森紙店に遊び空間をつくる
チーム番号：D5
チーム名：5はん
メンバー：今井 幹人
北村 翔
近藤 衣久美
齊藤 淳史
清水 瑠美香
高橋 向生
担当教員：吉田 正就